



吉川育英会だより



2016年5月17日
(公財)吉川育英会

～友の会（OB会）会員からの近況報告～

Vol.7

リジャル キラン (ネパール)
所属 九州産業大学



～後輩へ一言～

「日本語上達のためには、反復練習することが大切」

● 学生時代に力を入れて取り組んできたこと

☆ 日本語の発音練習を頑張りました！

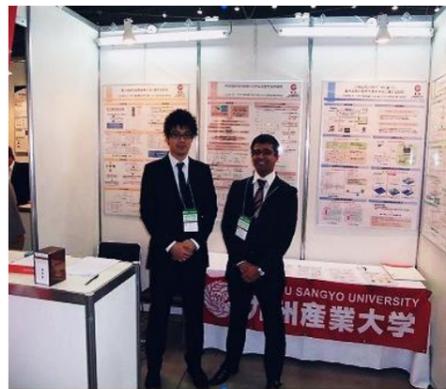
私は入学し、研究室に入りましたがそこで自分の研究テーマについて電気学会の九州支部大会に参加し発表を行う機会がありました。準備のため、発表の2か月前から朝から晩まで研究室にこもり研究をする毎日、何よりも一番苦労したのは発表の練習でした。

それまで何度か研究結果の発表がありましたが、良い発表ができた事がなかったので、今回はどうしたら良い発表ができるのかを毎日考えていました。そこで思っていたのが、発表する内容をワードで書き出し、それをコンピューターに発音させ、何回も繰り返し聞くという方法でした。その方法は見事に成功し、本番で順調に発表をすることが出来ました。同級生や教授に「別の人が発表しているみたい」と言われた時は嬉しく、自信がつかしました。内容については、教授から「電気専門の知識のない一般の方にも分かるように資料を作ればもっと良くなる」というアドバイスを頂きましたので、次回は分かりやすい資料作りをもっと頑張ろうと思っています。今年の7月に沖縄で行われる電気学会国際大会でもこの経験を生かし、取り組みたいと思います。

★ 緊張対策を頑張りました！

私は日本に来て日本語学校やバイト先、大学で数多くの人とコミュニケーションを取ってきたので、日常会話は問題なく理解できるようになり、電気関係の専門用語も理解できるようになりました。しかし、多くの人での発表やスピーチは、どうにも苦手で、一人の前で問題無くスムーズに行えたスピーチも、人数が少し増えただけで緊張が増し、噛んだり読み間違えたりというミスが多くなってしまいます。

そこで、まず家で一人で発表の練習をする際には、本番のイメージを作ってから練習を行うことを心掛けるようにしました。加えて、読む練習を何度も繰り返し行い、言葉が自然と口から出て来やすいようにし、されるであろう質問を想定した返答練習も行いました。数をこなし、経験値を上げることで自分に自信を付け、緊張に揺らがない心づくりをしました。また、少しでも良い結果を出すために、発表本番での心掛けも行いました。練習時とは逆のイメージを行い、今自分は部屋で一人黙々と原稿を読んでいるのだと、無理矢理にでも思い込ませることで、これらを実行し、緊張を克服することが出来ました。



再生可能エネルギー先端技術展 2015

写真右がリジャルさん。先端技術展にて。



吉川育英会にて環境ミュージアムを見学
※リジャルさん：写真下中央

梁 一丹 (中国)
九州工業大学 卒業



～後輩へ一言～

「夢を忘れずに、前に進もう！」

● 育英会の思い出と近況報告

▼ 応募のきっかけ

私が吉川育英会に出会ったのは2012年6月でした。当時、私は文系大学から九州工業大学の大学院に進学し、理系科目の猛勉強とアルバイトに追われる毎日ヘトヘトになっており、もっと学業に専念したいと思っていました。そんな折、運良く吉川育英会の募集を見つけ、思い切って応募することにしました。教授から推薦を頂き、面接を受けましたが、あまりにも緊張して心臓が飛び出しそうになったことは今でもはっきり覚えています。そんな状態でしたが、なんとか自分の目標や今後の抱負などを一生懸命に育英会の面接官の方々へ伝えることができ、無事奨学生となれた時はとても嬉しかったです。

▼ 育英会に参加して感じたこと

育英会の奨学生になると、毎月一回、吉川育英会のスタッフの方々や他の奨学生が集まり、様々な行事を行う「奨学生の集い」があります。昼食会の時には、副理事長から「皆さんくれぐれも体調の方に気をつけてください」という一言を頂き、何よりも暖かく感じました。おかげで二年間楽しく通い、まるで毎月一度、親の元へ帰っているようでした。本当に感謝しております。

▼ 卒業後は・・・

2014年に無事大学院を卒業し、福岡のソフトウェア開発会社に就職しました。今は3年目ですが、1、2ヶ月の東京出張も何度か経験しました。残業が多い業界なのですが、プライベートはなるべく充実させて過ごすようにしています。

また、ご報告ですが、2016年の1月に、大学院時代からお付き合いしていた中国・南京出身の彼氏と結婚しました。夫は私と同じく、システムエンジニアで博多区の会社に勤めています。同じく多忙ですが、週末はアウトドア的な活動（山登りや温泉めぐり、海辺）をして、ワークとライフのバランスを整えるようにしています。また、ゴールデンウィークやお盆休み・年末年始は、長い休暇をもらって中国に帰省しています。親と親戚に顔合わせして、お互い元気に暮らしていることを確認することで、また安心して日本で働けます。

▼ 最後に

私の10代のときの夢は、社長になることでした。何十人もの部下を率いて、事業で成功し、金銭面も精神面も豊かになりたいと思っていました。現在は就職し、働いていますが、いつか夢を現実にするのが、自分の原動力になっています。最近では夢の実現のため、毎日の業務以外に、企業の運営やチームマネジメントに感心を持ち、見習うようにもなりました。夢をかなえ、またみんなで育英会に集まることを楽しみにしています。



和装にて結婚式

